



金沢国際交流ラウンジニュース

No. 58
2021年(令和3年)2月27日発行

発行 金沢国際交流ラウンジ
〒236-0021 横浜市金沢区泥亀 2-9-1 金沢区総合庁舎2階
TEL:045-786-0531,0534 / FAX:045-786-0532
Email: klounge@shore.ocn.ne.jp
URL <http://www.kanazawalounge.org/>



ブラッシュアップ 研修会

2021年1月19日、22日、いきいきセンター金沢において日本語部ブラッシュアップ研修会が開催され、29名の参加がありました。1回の受講数を少なくするため、同じ内容を2回行い、グループワークの予定を講義方式に変更するなど感染予防対策に努め開催しました。

今回は、講師に神奈川県立国際言語文化アカデミアの教授、坂内泰子先生を迎え「違いをつなぐコミュニケーション」というテーマで、外国人支援の基本の心構えや言語習得の過程、事例をあげて学習支援のコツなどをお話ししていただきました。

「人はみな同じ…ではない」「小さな違いをコミュニケーションでつなぐことで人は認めあえる」などの言葉が、とても印象に残りました。



区民ギャラリー 展示 2月21日~27日

かもめ教室 「みんなの作品展」

様々な文化を背景に持つ子どもたちが今、ここに生活しています。習慣、言葉の違いに戸惑いながら、目に見えないハードルを一つ一つ越えていかななくてはならない子どもたちが、かもめ教室にやってきます。多彩な可能性を秘めた子どもたちの素敵な作品となりました。

子ども学習支援部 部長 古川真紀子

【担当よりコメント】

子どもたちが楽しんで向き合ってくれて、どれもすてきにできあがりました。感激しました。

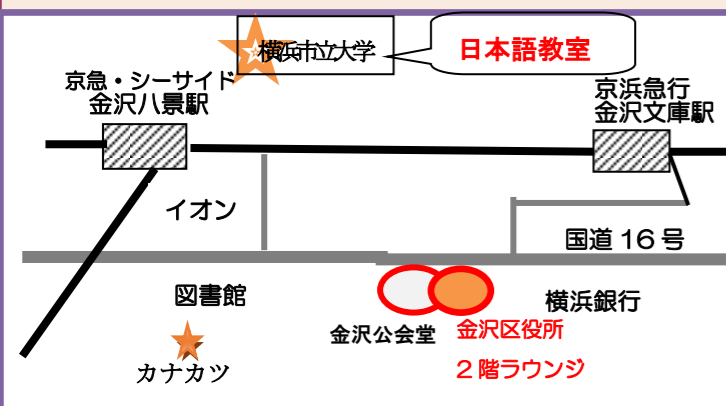


★ラウンジ窓口のご案内★

《開館時間》月・火・水・木・金・土 9:00~17:00

日、祝日、年末年始は休館

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀 2-9-1
金沢区役所 2階



☎045-786-0531・786-0534 Fax 045-786-0532

➤多言語で相談に応じます。

- 一月曜日~土曜日 9:00-17:00 英語
Monday thru Saturday, 9:00-17:00: English available
- 一木曜日 13:00~17:00 スペイン語
Los jueves por la tarde(13:00~17:00) en Español
- 一水曜日 9:00~13:00 中国語
星期三 9:00~13:00 中文

➤【日本語教室】 現在変則時間です。お問い合わせください。

場所：横浜市立大学 八景キャンパス 交流室 1,2
日曜日 火曜日 木曜日 土曜日 10:00-11:30

➤【かもめ教室】 現在変則時間です。お問い合わせください。

- 火曜日 16:00-18:45 オフィスカナざわ
- 木曜日 16:00-18:45 カナカツ
- 金曜日 15:00-16:30 並木北コミュニティハウス
- 土曜日 9:30-12:00 カナカツ

学習者が 母国語で翻訳のお手伝い

タイ語、ベトナム語、ミャンマー語、フィリピン語（タガログ語）で

ラウンジ日本語教室では、最初に外国人が教室に来たとき、インタビューをしています。そのインタビューシートを学習者外国人がその国のことばでわかるように 母国語 でも用意しています。



今回4言語追加することになり、日本語文を各言語に訳すときに学習者におねがいしました。

学習者は 日本語の文を読み、それを自分の国のことばで書くことに挑戦し、日本語の勉強だけではなく、母国のみんなを助けることにつながりました。

タイ語 最初は日本語は
ぜんぜん話せない、書けない、ききとれませんでした。
先生と楽しくべんきょうし、今は漢字もべんきょうしています。 森田 ナヤダ



ミャンマー語
ミャンマー語のチェックをした。読んでわかる文だと思った。
ネ ウィン ティン



フィリピン語（タガログ語）

先生と一緒に作業ができて、とても楽しかったです。
前田 マリベス



ベトナム語
今回の翻訳作業はおもしろかった。次回から私ができることがあったら手伝います。
ダオ グエ ハン



金沢国際交流ラウンジは、金沢区役所の委託を受けて金沢国際交流ラウンジボランティア会が運営しています。

【お詫び】

ラウンジニュース57号にてお知らせした1月16日の金沢ラウンジフェスティバルはコロナ感染拡大のため、イベント自粛を受け、中止になりました。プログラム「外国人の座談会」を紙面でご紹介します。

日本に暮らして 出演：出身の国 ミャンマー、中国、ペルー、台湾、ベトナム

日本に暮らしていてどんなことを感じていますか。

金沢国際交流ラウンジの日本語教室では、外国から日本へ来て地域で生活している皆さんが安心して日本語を学習し、楽しみながら日本の文化や習慣について知ってもらえるようにサポートしています。日々の生活の中で、皆さんが感じていることを聞いてみたいと思います。

ミャンマー テテ エイラインさん(在日5年)

私が感じたことの1つは、日本には1日の中で、「あいさつ」のことばがたくさんあることです。

ミャンマーでは、“ミンガラバ”という一つのことばを使います。

日本語は表現が豊かで、生活の時間をたいせつにしていると感じます。

2つ目は「ごみは捨てない」ことです。出かけてもごみは自分で持ち帰る

習慣があることにおどろきました。

最後は、日本語のあいまいさについてです。

日本人に何かたずねた時、「はい」や「いいえ」などはっきりした言いかたをしない

ことがあります。それは相手を傷つけないように、相手への思いやりからこのようなあいまいな表現をすることがあるのだとわかりました。

わたしにとって日本語はとても興味深いことばで、これからももっと勉強していきたいと思っています。



ベトナム チンゴック チュックさん(在日8年)

外国人は日本に来て、一人で生活していると、寂しくなることがあります。しかし、私は日本人と仕事をしたり、勉強したり、話をしたりしている時はとても幸せです。日本に来る前は、技術の進んだ日本ではすべてがインターネットなどで行われ、人とのコミュニケーションはどうなるのかとかいろいろ不安がありました。

しかし、日本に来て日本人と共に生活した時、そんな心配はいらないことがわかりました。道で挨拶してくれる人がいます。会社では、私の先生でもあり、友達でもあり、父でもあるような日本人の先輩に出会いました。先輩は疲れていても丁寧に教えてくれました。

また私は、日本語教室でいろいろな国の人たちと出会い、言葉の勉強ばかりでなくみんなと一緒に笑って疲れが消えていきます。

こんな環境づくりをしてくれているボランティアの先生たちに

とても感謝しています。暑い日も寒い日も雨の日も私たち学習者のためになるように気配りしてくれます。



中国 タン シンさん(在日14年)

私は中国のハルビンから来ました。今年で14年目になります。でも日本語はむずかしくて、なかなか上達できません。最近一つ心にくった体験があります。

私は日本に来て14年もたって、初めて着物を着ました。いつか着られたら

いいなと思っていました。

日本で知り合った中国の友達といっしょに着付け業者に頼んでもらいました。

着付けが終わるまで、どんな姿になるか、ドキドキしました。10分もかから

ないで完成しました。さすがプロと思いました。

私は初めて着物を着た自分の姿を見てとても感動しました。その姿で街の中を

歩いて、神社で願い事をしました。普通は30分もかからない距離が1時間もかかりました。着物を着て歩くのは大変だとわかりました。でも私にとってこの着物体験は忘れられないものとなっています。



台湾 コウ ブーチンさん(在日21年)

私は台湾から来ましたコウと申します。家族は夫と子どもと私の3人です。

子どもが幼稚園に入園してから中学校を卒業するまで、私は保護者として、

たくさんの活動に参加して来ました。幼稚園では、卒園に向けてたくさん

の準備をしました。小学校では、PTA活動に参加して、バルマーク集めや花壇の

水やり、給食当番のお手伝いをしました。また、カーテンの洗濯やトイレの

清掃などもしました。中学校では、成人班の仕事をしました。

このような活動は台湾にはありません。なぜお母さんたちが子どもの学校に

行ってこんなにたくさんの仕事をしなければならないのか不思議でした。でも、子供の成長に合わせて私も成長することができました。今では楽しい思い出になっています。



ペルー アレマン ユリコさん(在日18年)

わたしはペルーから来ました。夫はエルサルバドル人で、子どもが3人います。

子どもが通う日本の保育園で、「お米を育ててそれを食べる」ことを見ました。

育てる楽しさとそれを使ってできたものを大切に食べることはいいことだと思います。

また、おもちゃは男の子と女の子のおもちゃというように分けなくて、みんなで

遊ぶことにおどろきました。わたしの国はそうではありません。

また日本の学校では、みんなでそうじをします。ペルーではそうじの会社の人が

します。みんなできれいにすることで、友だちとのチームワークができ、

物をたいせつにする心が育つと思います。

わたしの子どもたちは日本の保育園や日本の学校で学ぶことができてよかったです。



以上5人の方たちは、日本での生活について、それぞれの視点から感想を述べてくださっています。

日常的な挨拶や言葉のやりとり、子育て、日本の習慣や文化の体験、そしてコミュニケーションなどなど。

私たちが暮らす地域には、外国から来た人たちが共に暮らしています。共に暮らすことで私たちが気付かされることも少なくありません。私たちは互いに交流を深め、より豊かな地域社会を目指していきましょう。